

# 1 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館(旧旭川偕行社)

この建物は、旧陸軍第七師団が旭川に設置された際に、将校たちが親睦を深める場として明治35年に建設され、皇太子時代の大正天皇や昭和天皇がご来旭された時のご宿泊所にも使用されました。現在は、旭川ゆかりの彫刻家「中原悌二郎」を記念した彫刻専門の美術館となっております。  
※「旧旭川偕行社」は、平成元年に国の重要文化財(旭川市では唯一)に指定されました。



- 所在地 〒070-0875 旭川市春光5条7丁目
- 電話 0166-46-6277
- 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始(12/30~1/4)
- 観覧料 一般300円、高校生200円、中学生以下無料  
※観覧料の詳細は同館にお問い合わせください。

# 2 春光園

この公園は、旧旭川偕行社の前庭で神社もありましたが、戦後、偕行社は進駐軍に接収され、神社は移転しました。その後、前庭は国から旭川市に管理が移管され、市民の憩いの場として公園整備されました。大木に囲まれた公園には石置が敷かれ、地域の夏祭りなどのイベントにも利用されています。



- 所在地 〒070-0875 旭川市春光5条7丁目
- 主な施設 池、遊具施設、水飲み台、トイレ

# 3 井上靖記念館

井上靖記念館は、井上靖が旭川で生まれたことを記念して、平成5年に開館し、自筆の取材ノートをはじめ、直筆原稿、文学作品、親交のあった芸術家の作品など、井上靖の83年の生涯を紹介する貴重な資料を展示しております。また、平成24年に東京都世田谷区にあった井上靖邸の書斎及び応接間を移転し、公開しています。



- 所在地 〒070-0875 旭川市春光5条7丁目
- 電話 0166-51-1188
- 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始(12/30~1/4)、6月から9月は無休
- 観覧料 一般200円、高校生100円、中学生以下無料  
※観覧料の詳細は同館にお問い合わせください

# 4 旧第七師団覆馬場

明治29年に札幌に置かれた第七師団が、明治32年に鷹栖村字近文に移転することが決まり、直ちに諸営舎、官舎が大規模に建設されました。その営舎の一つである覆馬場は、冬季の乗馬訓練等のため明治末期から大正初期にかけて各連隊、大隊に設置されたようです。本建物は、騎兵第七連隊に属するもので、大正1年から大正2年の建築と推定され、現存する唯一の覆馬場の遺構です。



- 所在地 〒070-0873 旭川市春光3条7丁目

# 5 スタルヒン像

ヴィクトル・スタルヒンはロシアで生まれ、幼少期に両親と共に日本に亡命し、旭川に定住しました。その後、旭川中学校のエースとしての活躍で、プロ野球草創期の巨人軍にスカウトされ、プロ野球史上初の300勝投手、42勝の年間最多勝勝利数などの数々の偉業を達成しました。



- 所在地 〒070-0901 旭川市花咲町2丁目スタルヒン球場

# 6 北鎮記念館

北鎮記念館は、屯田兵や旧陸軍第七師団の貴重な資料を展示する資料館です。なお、これらの資料は旭川の歴史とも深いつながりがあります。  
※「第七師団関係記録」は、平成18年に旭川市の文化財に指定されました。



- 所在地 〒070-8630 旭川市春光町陸上自衛隊旭川駐屯地隣
- 電話 0166-51-6111(北鎮記念館呼出)
- 開館時間 夏期(4~10月)9:00~17:00  
冬期(11~3月)9:30~16:00
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
- 閉館日 年末年始
- 入館料 無料

# 7 スキー発祥の地

旭川春光台公園内のパークゴルフ場近くにある。北海道に近代スキー技術を指導したオーストリアの軍人レルヒ中佐と旭川の深いつながりを記した石碑です。明治45年、春光台においてオーストリア人の軍人レルヒ中佐が、旧第七師団の将校や民間人に近代スキー技術を直接指導したことをうけ、この地が北海道における近代スキーの発祥の地として昭和41年に建立されました。



- 所在地 旭川市春光台公園内

# 9 ミズバショウ群生地(春光台公園)

丘陵地帯にある春光台公園の、道々旭川幌加内線をはさんだ東側エリアには、ミズバショウの群生が見られます。公園内の湿地帯に約750メートルにわたり自生しており、道内でも有数規模の群生地と言えます。春先(4~5月頃)のピーク時になると真っ白な仏炎苞(ぶつえんぼう)と呼ばれる苞(=花ではなく葉の一種)が開き、その美しさをより一層増します。



- 所在地 旭川市春光台公園 (近文5・6線3号から5線5号)



駐車・休憩は北部住民センターを御利用できます



# 春光魅力探訪図

春光台公園(展望ポイント)からの景色

春光まちづくり推進協議会 / 春光魅力探訪図製作プロジェクト  
イラスト:旭川高専 藤田大地 齋藤来瞳

## ■春光町の町名の由来について

「旭川市史2」によると、昭和25年6月の町名変更により春光町の町名が決定し、翌26年3月より実施とされています。昭和22年に旭川市立春光小学校が開校していることから、昭和25年より以前から春光という名称は、旧師団地域の通称に用いられていたと考えられますが、はっきりとした由来は確認できません。

## ■春光魅力探訪図製作の経緯

春光地域は、旧軍時代からの歴史が育まれてきた地であり、それらに関する史跡が多数残っております。また、その歴史の一部を利用して、井上靖記念館や彫刻美術館などが設置されております。そうした歴史的・文化的な背景のある春光地域につきまして、多くの方々に魅力を感じていただきたいという思いから春光魅力探訪図を製作しました。

- <協力>
- ・地域情報をいただいた春光地域の方々
  - ・旭川工業高等専門学校 藤田さん、齋藤さん、以後先生
  - ・(有)道新たかはし
  - ・北鎮記念館
  - ・一般社団法人旭川観光コンベンション協会

# 8 しだれ桜

春光1条7・8丁目にある市営住宅の敷地内で「しだれ桜」が約40本咲き誇ります。市営住宅に住む人々でつくる鈴谷町内会と地域のみなさんが、平成9年に旭川市の助成を受けて苗木を植樹したのが始まりです。花は桃色と白の二色で、風でカーテンのように揺れる様子が見る人を和ませます。



- 所在地 〒070-0871 旭川市春光1条7・8丁目

# 10 水準点

水準点とは、全国の主な国道又は主要地方道に沿った約2kmごとに設置してあります。この水準点を使用することにより、土地の高さを精密に(mm単位)求めることができます。また、地殻変動、地盤沈下対策等に必要となる土地の上下変動は、水準点の測量を繰り返すことにより求められます。水準点には、基準、一、二等の種類があり、全国に約1万7千点設置されています。



- 所在地 〒070-0901 旭川市花咲町7丁目 旭川医療センター敷地内の国道沿い



# 春光魅力探訪図 ウォーキングコース

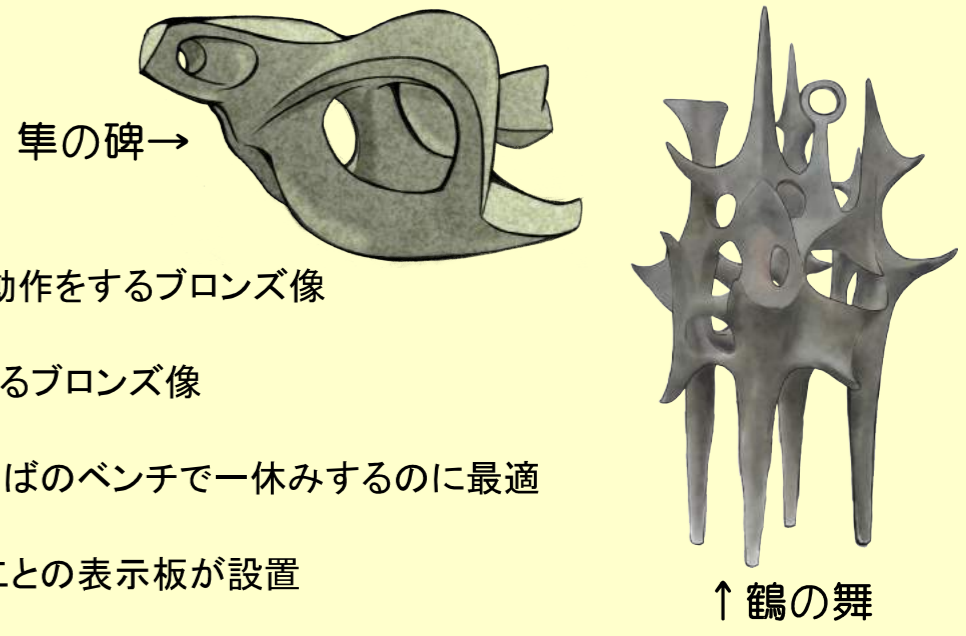
コースは3つ！  
実際に魅力探しに出かけてみませんか？  
身近なコースでも、新しい発見があるかも！？



駐車・休憩は北部住民センターを御利用できます

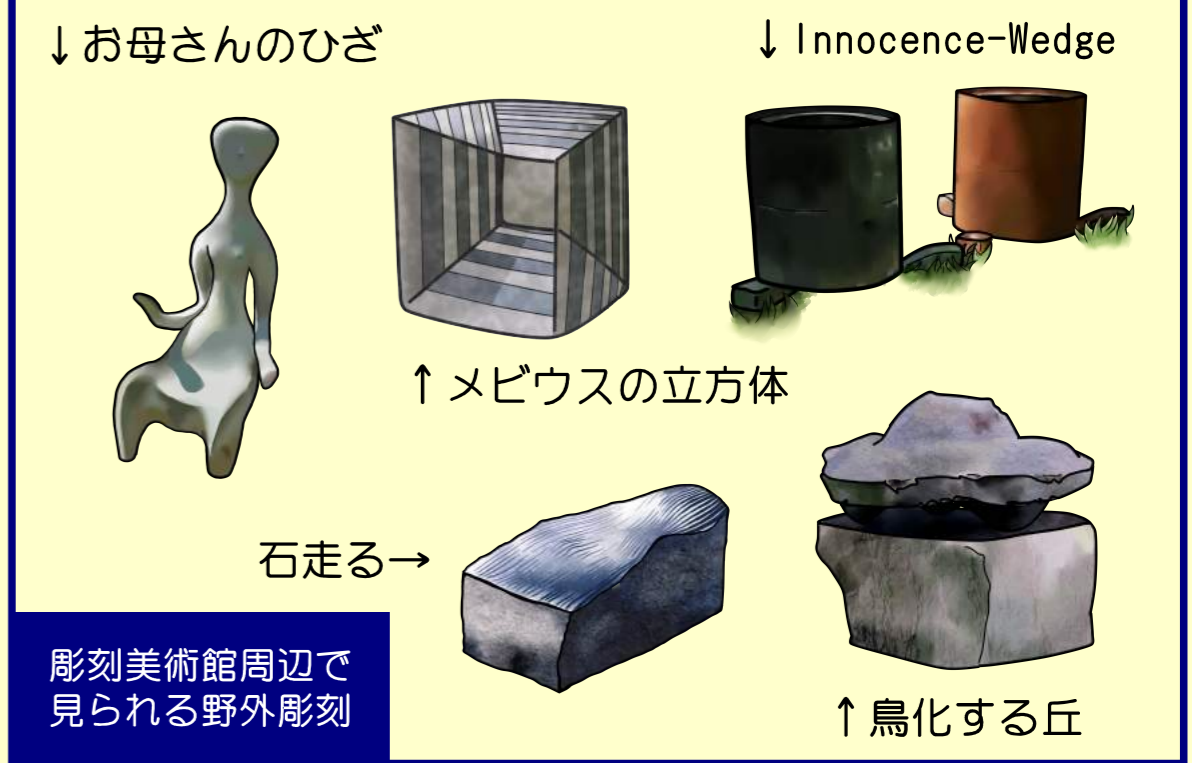
## A 花咲コース (約4キロ) おすすめ：蓮が咲く夏

- 蓮の池  
7~8月ごろの早朝に咲き屋には閉じるので午前中がオススメ
- 北鎮記念館  
屯田兵や旧陸軍第七師団の貴重な資料が展示されている資料館
- スタルヒン像  
旭川が生んだ大投手ヴィクトル・スタルヒンが、振りかぶった投球動作をするブロンズ像
- 少年の夢  
花咲スポーツ公園にふさわしい、少年が馬に乗った躍動感あふれるブロンズ像
- 隼の碑・鶴の舞  
「隼」は花咲町側、「鶴」は新富側の橋詰めにあるブロンズ像で、そばのベンチで一休みするのに最適
- 森鷗外立寄り地  
陸軍省医務局長の森林太郎(鷗外)が大正3年5月に立ち寄ったこと表示板が設置(旧)第七師団旭川陸軍病院跡地  
かつて、この地に旧陸軍第七師団衛戍病院があり、その後、病院の統合等により、現在は旭川医療センターとなっている
- 水準点  
標高の基準となる点で国道沿いに埋設されているものの一つ



## B 桜と文化コース (約3キロ) おすすめ：桜が咲く春

- しだれ桜並木  
団地の公園を囲むように、しだれ桜が植えてある
- 旧覆馬場  
旧陸軍第七師団の冬の馬場として建設され、現存する唯一の覆馬場の遺構
- 春光園  
旧旭川借行社の前庭が、市民の憩いの場として公園整備されたもの
- 彫刻美術館  
旭川市で唯一の国の重要文化財である旧旭川借行社を活用した彫刻美術館
- 井上靖記念館  
旭川で生誕した作家・井上靖の83年の生涯を紹介する貴重な資料を展示
- ウツペツ川沿い桜並木  
ウツペツ川沿いに地域の方々が植えた桜並木



## C 自然と文学コース (約3.5キロ) おすすめ：桜・水芭蕉が咲く春、涼しく散策できる夏、紅葉が楽しめる秋、歩くスキー・チューブ滑りができる冬

- 井上靖通り  
井上靖の生誕地が近くにあり、旧陸軍兵舎間の防火策のために広い幅員となった道路
- 重さの Rond  
大きな石と7個の小さな石がロープで繋がり、カビベをしているかのような彫刻
- 春光台公園  
なだらかな丘陵地に帯状に設けられた展望の優れた公園
- 北海道スキー発祥之地  
オーストリアの軍人レルヒ中佐の指導による、北海道における近代スキー発祥の地
- 三浦綾子文学碑  
旭川市在住の作家として活躍した三浦綾子の自伝小説「道ありき」をテーマにした文学碑
- 蘆花寄生木ゆかりの地碑  
明治の文豪・徳富蘆花が、小説「寄生木」の舞台である春光台を訪ね歩いたことを記念した碑
- 水芭蕉群生地  
春光台公園の沢筋に約750メートルに渡り水芭蕉が自生し、4~5月ごろが見頃
- 若山牧水の歌碑  
歌人・若山牧水が大正15年10月に春光台で詠んだ八首中の一首の歌碑
- 春光台配水場  
旧陸軍第七師団が、石狩川から引いた水をろ過する池(覆蓋付緩速ろ過池)を設置し、水が凍結しないように屋根がかけられている(施設は地下にあるため見えません)
- 軍用水道碑  
旧陸軍第七師団が、軍用水道工事を明治43年から大正3年にかけて行い完成させた軍用水道の碑



三浦綾子文学碑 春光台配水場